

第9回サンフランシスコ国際映画祭テレビ記録映画部門ゴールデンゲート賞（最高賞）
アルゼンチン（コルドバ）国際実験記録映画祭最優秀美術記録映画賞

第7回日本紹介映画コンクール金賞
カンヌ青少年向国際映画祭優秀賞
コンゴ国際短篇映画祭美術部門優秀作品賞
イーストマンカラー 3巻

日本の美術工芸

<企画> 外務省
<製作> 桜映画社

— 製作意図 —

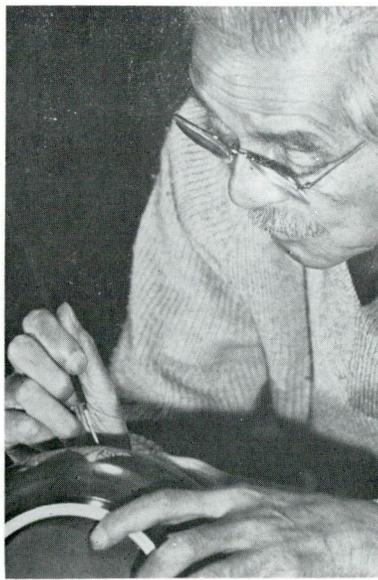
日本の工芸は、個性的な香りが豊かな点で世界的な評判をかちえている。西洋では絵画や彫刻はあくまで個性的だが工芸は産業であって、すぐれたデザイナーはいるが、日本のように自らの手で素材と取組むようなことはない。

この映画のねらいは、日本の伝統的な美術

工芸のよさを知らせるものだが、単なる作品の紹介ではなくて、理解の鍵を作品と人間と結びつけて描くところに求めた。つくる人とつくる技術、それを背後から守っている日本の伝統。そういうものを素直に出すことをねがった。また、つくる悦びと、それをささえている日本人の使う楽しさにもふれて描いた。

出演の作家

浜田庄司	(陶器)
富本憲吉	(磁器)
森口華弘	(友禪)
松田権六	(うるし)
田辺竹雲斎	(竹工芸)
棟方志功	(版画)
前田青邨	(日本画)



株式会社 桜映画社

東京都新宿区角管二ノ八四（スタンダードビル）
電話 361-9820・371-8241~5

あ ら す じ

日本の伝統的な美術工芸のよさは、それを育てた日本人の生活の中において見ると、その美の特質がよく分る。日本座敷の簡潔な構成をひきしめている床の間は、美術工芸品の美を味わう場所でもある。西欧の人々が立派な家具を愛するように、日本人はこうした美術工芸品を心の糧ともし、使う楽しさを味わって来た。

日本の伝統的な美術工芸品がもつ、やわらかくあたたかい独特の美は、どのようにして創られるか、その誕生の秘密をたずねてみよう。

世界的に知られた陶芸家、浜田庄司さんは、昔からつづく陶器づくりの村（益子）に入って、日本の古い伝統をさぐりながら、独自の制作をつづけている。

浜田さんがロクロで壺を作っている。その手のうごきが実にいい。左の手は右の手につれそって、どんな瞬間をとらえても美しい形になっている。その絵付けはまた無雑作で奔放だ。

日本の工芸の個性的なおもしろさは、外国の工芸作家のようにデザインだけでなく、自ら素材に取組んで自

由に個性味を発揮するところから生れている。

清水焼の窯が集っている京都の一角に、富本憲吉さんはしょう洒な工房をもって、個性の香りの高い繊細な磁器を作っている。彼は日本の自然や文化の中から、数多くのすぐれた模様を創作した。

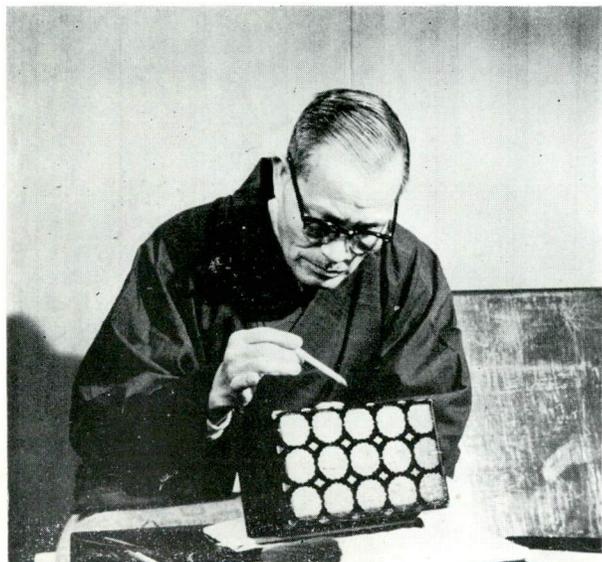
京都には、友禅の染めのような伝統もある。昔の都市は盛んなクラフトの町でもあった。

友禅染めの第一歩は、白い絹を仮りに着物に仕立ててその上にじかに下絵を描くことから始まる。下絵がきまると色づけをするが、出来た模様は糊で伏せて他の部分の染料がかからないようにする。

日本の着物には、着る悦びのほかに見る楽しみがある。こういう日本人の使う楽しみの深さと幅の広さが、日本の工芸を極度に発達させたといえる。

日本独特の漆器の美しさ。その蒔絵の伝統をうけつぐ松田権六さんの制作ぶりを見る。

蒔絵は何十回も塗り重ねた黒うるしの上に施される。まず模様の下絵が描かれ、金銀を蒔く部分には赤うるしを置く、制作は障子を立てきつたせまい工房で行われる。少しの空気の動揺にも高価な金粉が舞い立つからである



ス タ ッ フ

製作・脚本・監督	村山英治
原案	岡田譲
撮影	木塚誠一
照明	内藤伊三郎
音楽	間宮芳生
編集	長谷川宣人
助監督	長井博
製作主任	大口和夫
解説（英語版）	ウィリアムムーア
出演	香川京子 三宅邦子

蒔絵は、黒いうるしの肌に、色うるしや金銀のいれずみを刺すようなものである。

数多い工芸の中には、竹工芸品のように、日本の工芸の一つの特色である、素材の味を生かすものもある。あの弾力に富む固い竹が、ほとんど自由に造型されるところも面白い。

棟方志功さんの板画も、古い版画の伝統の血をひいている。しかしその創作ぶりは正に独自である。一気呵成という言葉どおりのスピードである。棟方さんは自分が作るのではなく、自然と伝統の力が自分をうごかしているのだといっている。

日本の伝統工芸には、不思議と画が多い。画が描けるということが尊ばれる。その画の家元ともいうべき日本画の伝統をうけつぐ代表的な画家、前田青邨さんも訪ねてみた。前田さんの画は、特別にうすくて丈夫な和紙を使い、刷毛で水を刷りては絵具をたらし込み、他の筆で散らし、その彩色が乾いて定着したところで又濡らしては他の色彩を塗り重ねていく。こうした技法には、他の日本の工芸美術の制作にもひどく似通ったものが感じられる。

（英語版の他に、仏、西、独、葡の各国語版がある。）

桜映画社の日本紹介映画

日本の童謡 カラー 3巻 企画…外務省（英語版、フランス語版、スペイン語版、ドイツ語版）
テレビ映画祭児童部門第1位（ローマ）
第2回国際児童映画短編部門第1位（アルゼンチン）
第5回シダルク国際映画祭ジャンプノアレビー賞
第3回国際短編映画祭第3位（メキシコ）
日本紹介映画コンクール優秀作品賞外務大臣賞

日本の教育 カラー 2巻 企画…外務省（英語版、フランス語版、スペイン語版、ドイツ語版）
日本紹介映画コンクール銀賞

手工芸品—その日本美 カラー 2巻 企画…ジェトロ（英語版、フランス語版、ロシア語版）
ベニス国際映画祭ゴールドマーキュリー金賞
モンザ産業と手工芸映画祭グランプリ
日本紹介映画コンクール最高賞、通産大臣賞